

<第2回：ペイロード組み上げ作業>

11/23 6日目



日曜日なので完全オフでした。ページ用の窒素の残留量を確認するため作業棟に行きました。ニーオルスンではあらゆる無線が禁止されていて、ネットワークにPCを繋ぐにはこの棟のHABに有線で繋ぐ以外の手段がないため、3名とも一日中ここに居ました。

我々の窒素ページに対する神経質な態度は、しばしばペイロードチームのジョークのネタにされます。例えば、「土曜のディナーは酒を食堂に持ち込んでもいい。ビールでも、ワインでも、勿論窒素ボンベもOKだ。」

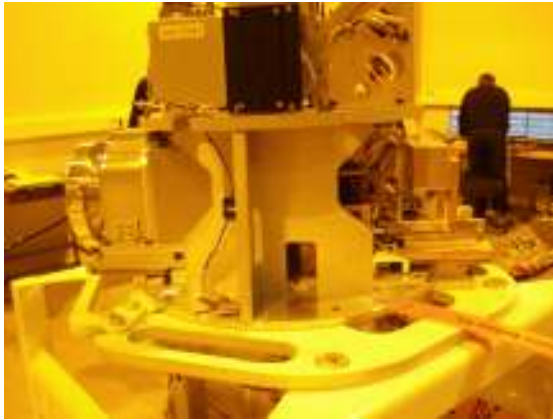


窒素ボンベ一本には日本でいう10立米ほど入っていて、一本で約3日ページ出来ます。

11/24 7日目



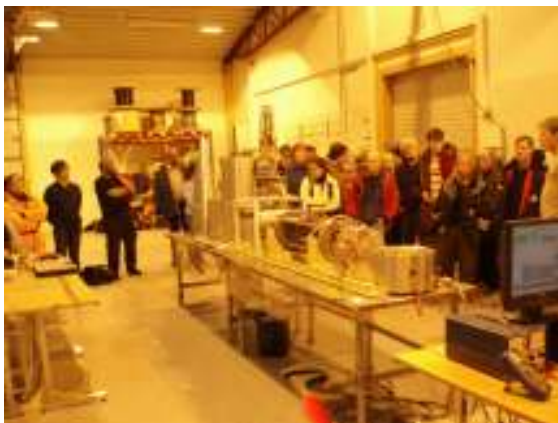
朝食時、外に狐がいたので写真を撮っておきました。島には熊も生息しており、町を離れて歩く際は武器の携帯が推奨されています。



午前中にタイマー試験を行いました。LEP はタイマー信号を受信して、点火から 66 秒後に進展を開始し、180 秒後に高圧電源が ON になります。観測機側は特に問題なくタイマー動作を確認しました。写真は進展を無事に終えた LEP です。



最上部の球体が FBLP、4 本広がっているのは E-field boom です。ブームの関節部には 1 本ずつ Langmuir Probe が付いています。



夕食後、町の人たちへの一般公開がありました。科学観測の町なのでほとんどご同業です。他はこの町の運営を担っているキングスベイ社の人があります。